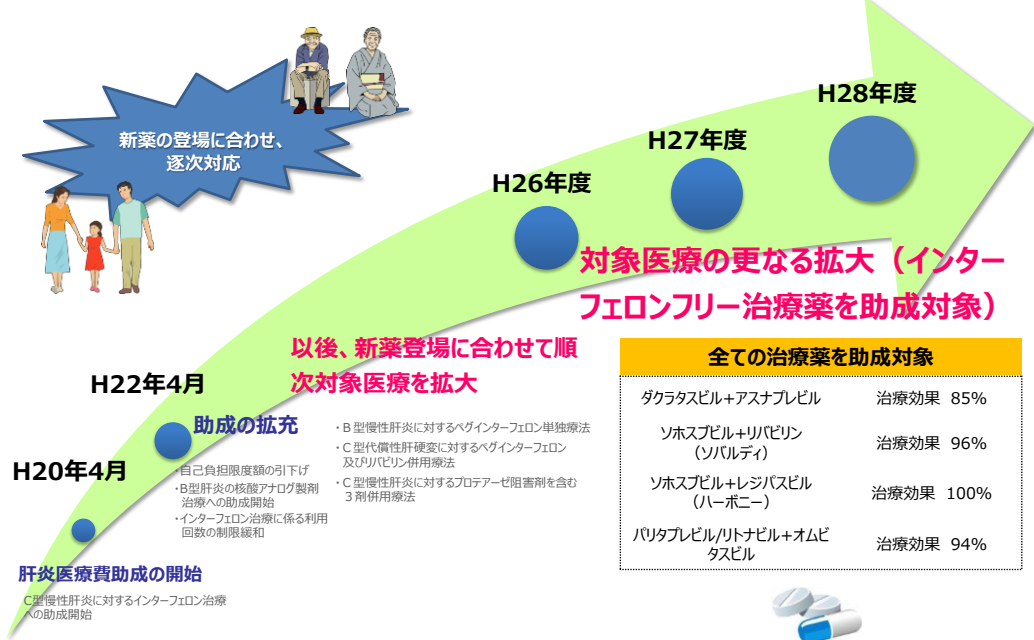


肝炎医療費助成の対応状況

H27:121億円 ⇒ H28予算案等:139億円



インターフェロンフリー治療薬の状況 (C型肝炎経口治療薬)

(平成27年11月現在)

一般名	薬剤適用組合せ	HCV 遺伝子型	薬価 (1日) (1治療)	治療 期間	効果 (SVR率)	国内開発ステージ	販売元
ダクラタスビル [Daclatasvir] アスナプレビル [Asunaprevir]	ダクラタスビル+ アスナプレビル	ジェノタイプ 1型	15,747円 (265万円)	24W	85%	H26.9保険適用	フジストル・ マイヤーズ
ソホスブビル [Sofosbuvir]	ソホスブビル+リ バビリン	ジェノタイプ 2型	61,799円 (519万円) ※リバビリンの薬価は除く	12W	96%	H27.5保険適用	ギリアド・ サイエンシズ
ソホスブビル (Sofosbuvir) レディバスビル [Ledipasvir]	ソホスブビル+レ ディバスビル	ジェノタイプ 1型	80,171円 (673万円)	12W	100%	H27.8保険適用	ギリアド・ サイエンシズ
パリタプレビル/リ トナビル [Paritaprevir- Ritonavir- Ombitasvir]	パリタプレビル/リ トナビル+オムビ タスビル	ジェノタイプ 1型	53,602円 (450万円)	12W	94%	H27.11保険適用	アブリイ合同会社

※SVR(sustained virological response) : 血中HCV-RNA持続陰性化（ウイルス学的著効）

2. 肝炎ウイルス検査等の促進

38億円（34億円）

- 保健所等における検査の検査体制の整備、陽性者のフォローアップの推進（ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業）

・検査未受診者の解消を図るため、出張型検診や医療機関委託など利便性に配慮した検査体制を整備。

・陽性者のフォローアップの推進

肝炎ウイルス検査で陽性となった者に対する医療機関への受診勧奨を行うとともに、定期検査費用に対する助成措置を拡充（所得制限の緩和）することにより、肝炎患者を早期治療に結びつけ、重症化の予防を図る。

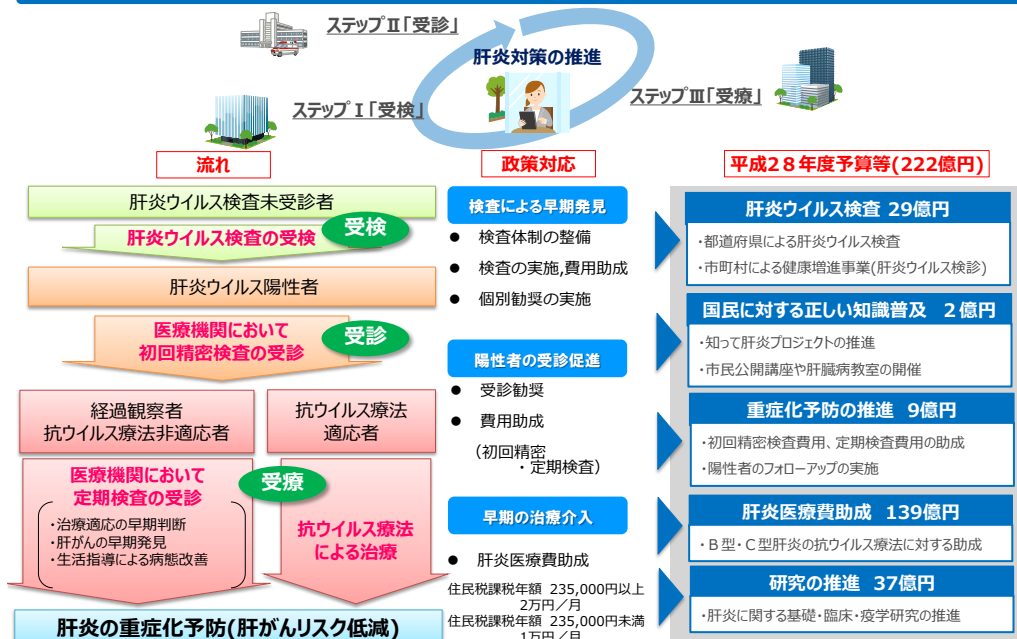
- 市町村における肝炎ウイルス検診等の実施、陽性者のフォローアップの推進（健康増進事業）

・肝炎ウイルス検診への個別勧奨の実施

40歳以上5歳未満の者を対象として、無料で検査を受けることが可能な個別勧奨メニューを実施し、検査未受検者への受検促進の一層の強化を図る。

・陽性者のフォローアップの推進

肝炎の重症化予防対策



定期検査費用助成の拡充

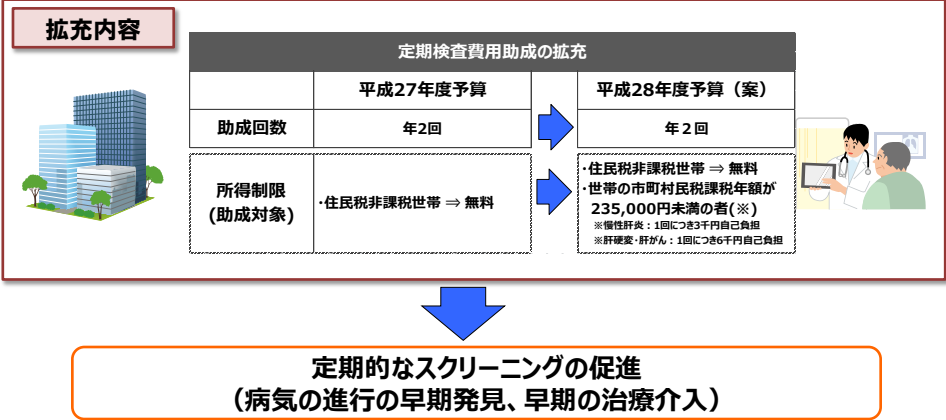
H27:3.6億円 ⇒ H28予算案:7.9億円

概要

慢性肝炎、肝硬変、肝がん患者に対し、定期的な介入を通じて早期治療に結びつけ、重症化予防を図るため、定期検査費用の助成の拡充措置を講ずる（所得制限の緩和）。

内容

○ 血液検査、超音波検査、CT・MRIを用いた定期検査に係る費用助成について、世帯の市町村民税課税年額235千円未満の者まで拡大し、早期発見を通じた受療機会を増やすことで、予後の改善に寄与する。



3.健康管理の推進と安全・安心の肝炎治療の推進、肝硬変・肝がん患者への対応 6億円（7億円）

- 肝疾患診療地域連携体制の強化

国内外で肝疾患に係る基礎・臨床研究が急速に進展している中で、肝疾患診療連携拠点病院等肝疾患の診療レベルや相談支援の質の向上を図り、地域の肝疾患医療提供体制全体の水準を引き上げるため、国立国際医療研究センター肝炎情報センターによる支援機能の戦略的強化を図る。
- 肝炎情報センターによる支援機能の戦略的強化

地域における肝炎対策の推進を図るため、肝疾患診療連携拠点病院を中心に、都道府県や関係機関が協力して地域連携体制を強化する。
 これにより、地域における肝疾患診療連携の円滑な実施を図るとともに、質の高い肝炎医療の提供体制を確立する。